

〔浴室・トイレ・洗面所用〕

三菱ダクト用換気扇 (24時間換気機能付 DC ブラシレスモーター搭載/定風量タイプ)

ダクトタイプ	十字格子タイプ		
仕様	1部屋換気用	2部屋換気用	2~3部屋換気用
形名	VD-15ZVC <sub>6</sub> VD-18ZSVC <sub>6</sub> VD-18ZVC <sub>6</sub> VD-20ZVC <sub>6</sub>	VD-15ZFC <sub>6</sub>	VD-18ZFC <sub>6</sub>

取扱説明書

お客様用

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。コントロールスイッチの位置を確認してください。

**お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)**

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.
- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。なお、ご使用前に「1.安全のために必ず守ることを」確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

1. 安全のために必ず守ることを

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの		<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、整備または家庭・家財などの物的損害に結びつくもの
--	-----------	-----------------------------------	--	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		接触禁止		指示に従う		アース確認
--	----	--	-------	--	------	--	------	--	-------	--	-------

<b>警告</b>	
	●内釜式風呂を据付けた浴室では使用しない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。
	●製品に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない ショート・感電の原因。
	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
	●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。 ●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用した場合に感電の原因。 ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 〔異常・故障例〕 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。
	●湿気の多い場所で使用する場合は、アースが取付けられているか確認する 故障や漏電した場合に感電の原因。 アースの取付けは販売店、電気工事店にご相談ください。

<b>注意</b>	
	●換気扇設置場所で熱気や油煙を発生させない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●直接炎のあたるとそのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない 火災の原因。
	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●運転中は危険なため、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。
	●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電の原因。 ●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。 ●お手入れの後の部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。 ●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

2. 特長

24時間換気機能付ダクト用換気扇は換気風量(急速・強・弱)の切り替えが可能であり、「強」または「弱」運転で24時間換気を行うことにより、給気口から新鮮な空気を取り入れ室内空気環境を改善します。

〈24時間換気方式について〉

建材や家具から発生するホルムアルデヒドなどの化学物質や居室に発生する汚染物質や臭気を排出するために、必要換気風量で24時間換気します。ただし、24時間換気を有効に行うには居室に専用給気口を設置し、ドアにアンダーカットを設けるなど空気の流通経路の確保が必要です。

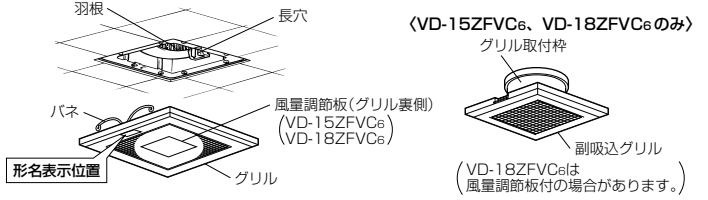
〈24時間換気方式の効果〉

- ①建材や家具から発生し、シックハウス症候群で問題となっているホルムアルデヒドなどの化学物質が滞留することなく、給気口から新鮮な空気を取り入れます。
- ②居室に発生する炭酸ガスなどの汚染物質や臭気を排出し、新鮮な空気を補給して空気のよどみを解消します。
- ③住宅内の湿気を排出し、結露を防止してカビ・ダニの発生を抑制します。

〈定風量換気について〉

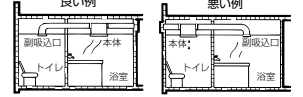
換気風量を適正に保つために、「強」・「弱」運転には風量を自動制御する定風量制御機能を備えています。

3. 各部のなまえ



ご使用にあたってのお願い

- スプレー(殺虫剤・整髪用・掃除用など)をかけないでください。(グリル・羽根の破損、変質の原因となります)
  - 高温(40℃以上)になるところに据付けられていないか確認してください。(製品の变形や早期故障の原因となります)
  - 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
  - お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。(台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください)  
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など  
(異常音の発生、変質、変色、塗装はがれや故障の原因となります)
- 〔VD-15ZFC<sub>6</sub>、VD-18ZFC<sub>6</sub>の場合〕
- 浴室と他の部屋で使用している場合は本体が必ず浴室に据付けられているか確認してください。(本体から水滴が落ちることがあります)



4. 使用方法

注意

- 換気扇設置場所で熱気や油煙を発生させない  
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 換気扇設置場所で中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用しない  
本体・部品の落下によるけがの原因。

運転開始と停止は壁のコントロールスイッチで行います。

- スイッチにより、ランプが点灯して運転中であることが分かるものがあります。
- 電源投入後、羽根が回転を始めるまでに2秒程度かかります。  
※運転が安定するまでに数十秒かかります。
- コントロールスイッチで風量を「急速」・「強」・「弱」に切り替えられます。コントロールスイッチ(ランプ付)の仕様により、「急速」・「強」・「弱」切り替えてランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。
- 「強」または「弱」運転で24時間換気をおすすめします。

- お願い
- 浴室使用においては、入浴時以外は浴槽に風呂フタをしてください。(浴室・換気扇のいたみを少なくします)
  - 給気口があるか確認してください。(効果的な換気を行うために必要です)
- お知らせ
- 浴室使用においては、冬場や湯気の量が多いときなどにグリルから水滴が落ちることがありますが異常ではありません。また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。
  - この換気扇は外気逆流や冷気侵入などを低減させるため、排気側に風圧式シャッターを付けています。風圧式シャッターでは急激なドアの開閉や外風の強い時などに、シャッターの閉じる音が聞こえる場合があります。
  - 羽根への汚れ付着量は換気扇の設置環境、使用頻度、機種によって異なります。
  - VD-15ZFC<sub>6</sub>、VD-18ZFC<sub>6</sub>は、本体が運転していない状態では副吸込側から換気はしません。

定風量換気(「強」または「弱」運転の場合)

- 定風量換気運転中は運転音に変化がありますが、これは換気風量を適正に確保するための自動制御によるものであり異常ではありません。
- 外風がある場合やレンジフードファンなどの運転時は適正な換気風量を確保するために羽根の回転数が上昇して風切り音が大きくなりますが異常ではありません。

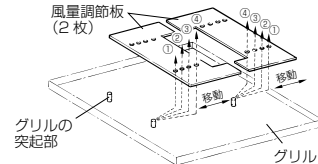
「急速」運転の上手な使いかた

- 浴室・洗面所の水蒸気やトイレの臭いを急速に排出したいときは「急速」運転に切り替えます。
- 浴室では入浴後、湯を抜くか、浴槽に風呂フタをして3時間以上換気扇を「急速」運転し、浴室を乾燥させます。…結露・カビの発生を抑制して浴室安全に役立ちます。

本体側と副吸込側の風量調節のしかた

本体側の場合 … (VD-15ZFC<sub>6</sub>、VD-18ZFC<sub>6</sub>)

- 本体グリルの風量調節板を移動させることにより本体と副吸込側の風量割合を変更することができます。

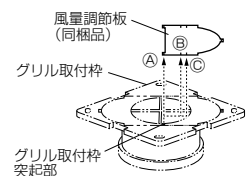


穴位置	VD-15ZFC <sub>6</sub>		VD-18ZFC <sub>6</sub>	
	本体風量	副吸込風量	副吸込風量(全開時)	1か所に対する本体風量割合
①	約 1.5 : 1 (工場出荷時)		約 1.5 倍 (工場出荷時)	
②	約 2 : 1		約 2 倍	
③	約 2.5 : 1		約 2.5 倍	
④	約 3 : 1		-	

- お願い
- 風量調節板はテープで固定されています。風量調節板を移動した場合は、再び風量調節板をテープで固定してください。
  - 風量調節板を取りはずしたまま使用すると、副吸込側から吸い込まなくなりますが風量調節板を取りはずしたまま使用しないでください。

副吸込側の場合 … (VD-18ZFC<sub>6</sub>)

- 工場出荷時、副吸込風量割合は全開(風量調節板なし)となっており、本体と2か所の副吸込風量割合は約 1.5 : 1 : 1 となっています。
- 風量調節板を使用することにより副吸込風量を全開時(風量調節板なし)の約75%・50%・30%に調節することができます。



穴位置	副吸込風量割合
A	約75%
B	約50%
C	約30%

